

おおがわら

議会だより



第167号

令和5年5月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



入学式

令和5年4月11日
(大河原南小学校)

令和5年度予算概要	②③
予算質疑・討論	④⑤
町政への提言	⑥
委員会活動	⑱
議案審議(1月・3月)	⑳
特集議員研修会・タブレットの導入	㉒
町民の声	㉓

一般会計

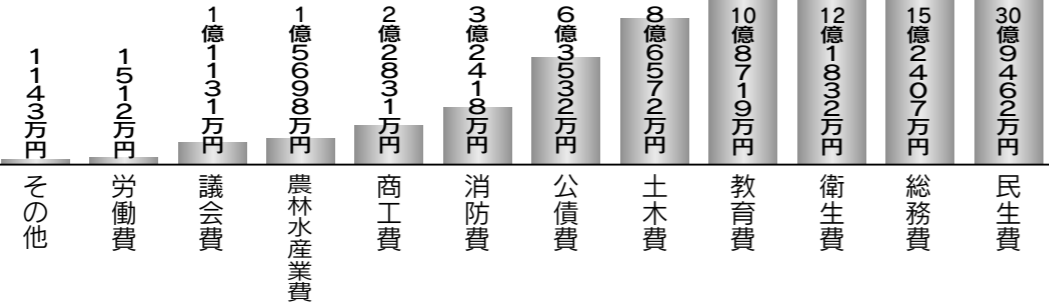
昨年より増
(前年度比0.6%)

92億7258万円

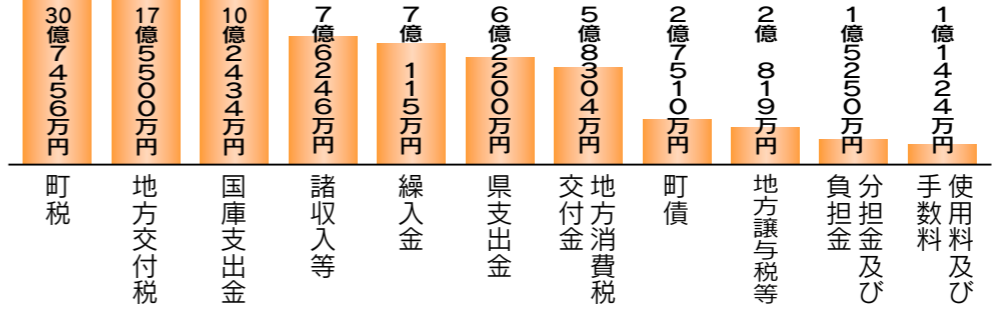
3月会議

歳入

歳出



※四捨五入のため、数値が一致しない部分があります。



3月会議は、3月2日から3月16日までの会期で開きました。町から提案された議案（うち令和4年度各種会計補正予算5件、令和5年度各種会計予算8件、補正予算1件）を審議し、すべて原案通りに可決しました。このうち令和5年度に実施される主な事業を掲載します。



中島荒屋敷上谷線
道路側溝改良工事

4900万円



大河原中学校ソフトボール
バックネット更新工事

1600万円



植樹100周年記念
おおがわら桜まつり

3228万円

特別会計

事業名	予算額 (前年度比)
後期高齢者医療	2億9669万円 (△4.6%)
国民健康保険	23億6147万円 (8.8%)
介護保険	14億6031万円 (4.0%)
仙南夜間初期急患センター事業	3885万円 (△3.8%)
地方卸売市場事業	260万円(△12.1%)
合計	41億5992万円 (5.9%)

町内樋門改修工事
1580万円

通学路舗装補修工事
460万円

いきいきプラザ
一時預かり保育整備事業
200万円

企業会計

事業名	予算額 (前年度比)
水道事業	収益的支出 5億9042万円 (△0.7%)
	資本的支出 3億5583万円 (△2.5%)
公共下水道事業	収益的支出 6億2656万円 (1.6%)
	資本的支出 6億4913万円(△30.0%)
合計	22億2194万円(△11.2%)



白石川右岸河川敷等
整備事業

1億4095万円



町政への提言 Q & A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すものです。今回は12人の議員が行いました。

- 高橋 芳男 P ⑦
 - 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用について
 - 安全で安心な子育て環境の整備について
 - 支え合い助け合う地域社会の構築について
- 万波 孝子 P ⑧
 - 暮らし応援策について
 - 災害対策について
 - マイナンバーカードについて
- 佐藤 暁史 P ⑨
 - 地方創生について
 - 南小体育館の補修について
- 中村 淳 P ⑩
 - 犬の飼育について
- 高橋 豊 P ⑪
 - 外国人に対する本町の対応について
- 佐久間 克明 P ⑫
 - ウェルビーイングなまちづくりについて
- 大沼 忠弘 P ⑬
 - 町公共施設、設備等の整備・更新状況について
 - 物価高による児童生徒への影響について
 - 橋梁ライトアップについて
- 佐藤 巖 P ⑭
 - 大河原卸売市場内に「みんなの市場」設置を
- 丸山 勝利 P ⑮
 - 本町の給食について
- 大沼 常次 P ⑯
 - 町民来庁時の対応と職員へのインセンティブ制度の現状について
 - 白石川右岸河川敷整備事業について
- 山崎 剛 P ⑰
 - 学校給食費の無償化について
 - 白線で滑る横断歩道の改善・改修を
- 佐藤 貴久 P ⑱
 - 白石川右岸整備事業に関して
 - 小水力発電事業の着手を求める

アクリル板を設置しているため、表情が見えにくい場合があります。内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。(https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/) 各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



福祉空間整備に交付金を

積極的な活用を勧めている

高橋 年々、自然災害や感染症が激甚化・頻発化しているなか、施設の利用者や高齢者等を守るための福祉空間整備等施設整備交付金の活用に向けて、事業者のニーズ調



施設利用者を守るために活用を

査を進めていくべきだと考えるがどうか。
町長 本町における交付金活用事例として、平成28年度に防犯対策、令和2年度には、防災改修等事業を行っている。ニーズ把

高橋 今年4月からは、「こども基本法」が施行され、子ども家庭庁が設置される。本町においても、妊娠前から出産・子育てまで一貫して支援する「伴走型相談支援」が先の1月会議で確立された。

安全で安心な子育て環境の整備を
握については、毎年宮城県を通して交付金の補助対象事業者募集の通知があるため、その都度、対象となる施設に事業実施の意向を確認するとともに、積極的な活用を勧めている。今後も積極的な情報発信と活用を推進していく。

町長 令和5年2月より「伴走型相談支援事業」と出産・子育て応援給付事業を一体的に開始した。また、乳児家庭全戸訪問事業では、生後4カ月までに保健師や助産師が家庭訪問し、不安や悩みを聴き、子育て支援に関する実用な情報提供を行い、子どもと母親の心身の健康状態の確認を行っている。

0歳児の見守り訪問事業のさらなる充実を図るため、毎月おむつや子育て用品を自宅に届け、育児の不安や悩みを聞いたり、情報を伝える「おむつ定期便」などの事業を展開していくべきだと思いが本町の対応はどのように行っているのか。

町長 本町では、見守りも兼ねた配達サービスや緊急通報システム事業、軽度生活援助事業を行っている。介護サービスとしては、要介護者や要支援者対象の生活援助サービスや、介護認定を受けていない方対象の介護予防訪問型ホームヘルプサービスの買物代行サービスを利用できる。これらのサービスを、今後もより使いやすい制度とできるよう努めていく。

高橋 高齢者人口は、2025年には、367.7万人に達し、高齢者の一人暮らしや、高齢者のみ世帯が増加している。高齢者の自宅まで食料品などを届ける宅配サービスや、地域を巡回する移動販売カーの運行を進めていくべきだと思いがどうか。

支え合い助け合う地域社会の構築を



高橋 芳男

一般質問

学校給食費無償化

教育費、親の負担軽減を

軽減するよう検討する



万波 孝子



万波 学校教育費の年間平均は公立小約6万円、公立中約13万円、私立小約5万円。さらに塾代など親の負担が重くなっていると言えないか。

教育長 保護者の負担を考慮し、できるだけ校納金を増額しないように努めている。

万波 昨年12月議会で給食費無償化を取り上げた以降、さらに全国、県内でも実施

する自治体が増えてきている。川崎町でも4月から物価・原油高騰の影響や子育て支援からの無償化を実施する。前回の「実施しない」を改め実施に向けて再考を。

教育長 無償化を担保するための財源を恒常的に確保するのが困難な状況であるが、保護者の負担を軽減するよう検討していく。



楽しみに待っている子どもたちのもとに出発

集中豪雨による浸水・冠水対策を急げ

万波 台風19号からの教訓は雨水対策事業にどう活かされたか。

地域整備課長 道路冠水軽減策として東校町内に仮設の排水ポンプを設置した。令和5年度に内水氾濫のシミュレーション結果を踏まえた防災マップを作成し、浸水・冠水対

策につなげる取組みを行っている。県は河道掘削や支障木の伐採等を継続して実施している。

万波 台風19号は日頃から車両避難所を確認しておくこと、そのためには地域のコミュニティがいかにかに大切か、桜町一区の地区防災組織の中で確認したという。町づくりに活かしていくべき。

町長 先進事例であり地域の活性化につながるもの。区長会で周知する。

万波 重点排水区として①鷺沼排水区②白石川左岸第四排水区③大河原排水区④桜第二排水区がある。早期着工を望むが現状と計画の見通しは。

町長 ①5号調整池の本体工事は概ね完成。5年度中の運用開始を見込んでいる。②③④については最も

浸水被害が発生している稗田地区の工事完了後、順次検討していく。**マイナ保険証大丈夫**

万波 マイナンバーカードを取得しない人、すでにマイナ保険証取得済みの人の中には情報漏洩を心配する声がある。どう応えていくのか。

町長 搭載されているICチップには、税や年金等のプライバシー性の高い情報は記録されていない。健康保険証として利用される場合も、特定健診の結果や薬剤情報、ICチップに記録されることはない。

賑わい創出にインスタ活用を

観光客・移住者増加に期待

佐藤 本町の新たな賑わいの創出にインスタグラムを活用する考えはあるか。



白石川右岸に映えスポットを

町長 認知度の向上や、観光客・移住者の増加に期待ができる。

佐藤 緊急時の的確な情報発信にも繋がる。タイムリーな情報発信にインスタグラムを活用するべきではないか。

町長 ご指摘の通り。魅力的なので真剣に取り組んでいきたい。

佐藤 一目千本桜植樹100周年なので「インスタ映え」スポットを設置し世界に発信してはどうか。

町長 「インスタ映え」する場所の設定や横断幕はPR効果も期待される。来町する基盤作りも検討する。

佐藤 白石川右岸に新たな大河原の観光スポットとして「扉」を設置してはどうか。

町長 地元高校生と連携した施策として、ハッシュタグの効果的な利用も想定される。調査研究を行う。

佐藤 アニメの舞台に働きかけ、アニメツurisムで地方創生をしてはどうか。

まで入り込んだ。今月中（R5・3月）に修理完了の予定。

佐藤 大河原商業高校や産業高校の生徒達とコラボして、町独自のハッシュタグを募集してはどうか。

町長 エンターテインメントを活用する取り組みについて調査研究する。

佐藤 映画、有名人とコラボして観光客が来るようにできないか。

町長 南小学校の体育館について、今後大規模改修は必要か。

佐藤 体育館の大規模改修の必要はないのか。

教育長 南小学校の体育館については、令和22年に大規模改修は必要か。

状況により補修を行う。

佐藤 体育館の屋上防水の改修は令和22年に工事計画か。

教育長 内部の改修は令和24年に計画か。

教育長 内部の改修は令和24年に計画か。

教育長 内部の改修は令和24年に計画か。

教育長 内部の改修は令和24年に計画か。

教育長 内部の改修は令和24年に計画か。

他の設備と合わせ改修を検討していく。

地方創生



佐藤 暁史



一般質問

犬の飼育

ふん害等防止条例制定を

既存の条例改正を検討



中村 淳



町内を散策している
と公園には町で設置し
た犬のふん処理に関す
る啓蒙のパネルが設置
されているが、個人で
も「犬のふん放置禁止」
の掲示が増えている。

町長 犬の登録や所有
者を管理するシ
ステムの導入により、
登録番号、予防接種の
実施、死亡、転居・転出、
所有者変更等、一括管
理している。

中村 犬のふんを処分
する場合、ゴミ
としての分類区分は何
に該当するのか判別が
難しいことが持ち帰ら
ない一因となっていな
いか。本来どう処理を
するべきなのか。

町長 汚物として燃え
るゴミに区分さ
れている。飼い主のマ
ナーで有り、これが一
因とは考えていない。

中村 トイレに流す方
もいると思うが、
屋外で回収したふんは
は、不純物が付着して
いるため下水管を傷つ
けると言われている。

町長 これらの禁止も表記す
べきではないか。

課長 上下水道 指摘の通り。
ただ、個人宅
での行為なので実態把
握は困難。広報等で注
意喚起していく。

町民生活課長 登録時に周知
している。分
別についてもアプリが
あるので分かりやすく
していく。

中村 犬のふんの放置
は、飼い主のマ
ナー違反。「軽犯罪法」
「廃棄物処理法」に抵
触する可能性があるが、
法によって罰せられる
事は少ない。犬のふん
放置に特化して条例を
制定する必要はない



本当に困っています

か。

町長 「大河原町環境美
化の促進に関す
る条例」において家庭
外で生じたゴミをみだ
りに捨てることを禁止
している。新たな条例
の制定は考えていない。
啓発活動を行っていく。

中村 その条例は承知
しているが、全
国で同様の条例に、犬
のふんの放置禁止を明
記しているのは700
件以上。回収具を持参
することを規定するも

の、2万円以下の罰金
を科すものもある。明
記することは、その行
為を視認したときに注
意しやすくなり、罰金
の表記は抑止力にもな
る。

町民生活課長 本町の条例で
は、確かに明
記されていない。新た
な条例制定は、考えて
いないものの、現条例
の一部改定等で調査研
究していきたい。

外国人

共生社会の取り組みは

必要とされる場合に企画



日本における訪日外
国人数は2019年に
3188万人を記録し
たが、世界的な新型コ
ロナ感染拡大の水際規
制の強化により観光目
的の訪日者数はゼロと
なった。2022年10

月以降の本格的なイン
ハウンドの再開を受
け、訪日客の増加に国
を挙げて取り組んでお
り、本町においても桜
まつりが4年ぶりに開
催されることでインバ
ウンド需要も期待する

町長 観光ボランティア
アによる英語の
通訳案内、手荷物預か
り所のオーガ開設、駅
前広場の観光案内所や
まつり会場へ多言語パ
ンフレットの設置を予

高橋 桜まつりにおけ
る外国人の受け
入れ態勢は。

町長 桜まつりにおけ
る外国人の受け
入れ態勢は。

町長 県南を「面」で
見せる観光商品
の開発やプロモーション、
起業家育成や就農、
教育支援といった地方
創生事業も行う。

高橋 外国籍住民に対
する日本語学習
支援、及び共生社会に
向けた今後の取り組み
は。

町長 町では日本語学
習支援は今のと
ころ行っていない。外
国人労働者は各企業が

町長 難民は県内で38
人公表されて
いるおり、仙台市、石
巻市が実際に受け入れ
を行っている。本町に
受け入れ態勢の整備は
困難であるため、避難
民の受け入れは考えて
いないが、実際に避難
希望があれば支援を考
える。

高橋 ウクライナ等
からの避難民受け
入れの町の対応は。

町長 町民は県内で38
人公表されて
いるおり、仙台市、石
巻市が実際に受け入れ
を行っている。本町に
受け入れ態勢の整備は
困難であるため、避難
民の受け入れは考えて
いないが、実際に避難
希望があれば支援を考
える。



高橋 豊



一般質問

コミュニティ FM

開設してはどうか



佐久間克明



検討する中で参考とする

佐久間 どのような展開を検討しているか。

町長 「心身ともに健康で幸福な状態を継続すること」と理解し、これからのまちづくりにおいて問題解決するための目標とする。健康に関して、新たな視点で日常での様々な体を動かすことをス

町長 「心身ともに健康で幸福な状態を継続すること」と理解し、これからのまちづくりにおいて問題解決するための目標とする。健康に関して、新たな視点で日常での様々な体を動かすことをス

町長 「心身ともに健康で幸福な状態を継続すること」と理解し、これからのまちづくりにおいて問題解決するための目標とする。健康に関して、新たな視点で日常での様々な体を動かすことをス

佐久間 多重情報発信の一つの方法としてコミュニティFMを開設してはどうか。

町長 町を身近に感じること、共に生きるこ

佐久間 スポーツを通じたまちづくりの一つに、「大河原千本桜スポーツパーク」と「心のケアハウス」との連動も考えられるのではないかと。事業スタ

とつながる情報発信として効果的な手段と考える。今後様々な問題解決を検討する中で参考にしたい。

事業構築と近隣自治体との連携を

佐久間 スポーツを通じたまちづくりの一つに、「大河原千本桜スポーツパーク」と「心のケアハウス」との連動も考えられるのではないかと。事業スタ



気軽にスタートできるまちの情報発信

1トから5年が経過し現在も町独自の財源で運営している。児童の減少も考えれば地方自治体単独での維持には限界がある。近隣自治体との連携を模索する必要もある。神奈川県川崎市のNPOでは「不登校は認めるが引きこもりは認めない」の実践に向け「ほっと肩の力を抜いて、ひとりひとりの居場所、誰もが生きている、ただそれだけで祝福される居場所づくりをみんなで考

える」よう様々に取り組んでいる。参考にしているかどうか。町長 個に応じた居場所づくりを確保する観点から、屋外でのスポーツ活動等によって心の安定が図れる児童生徒に対して大変有効と考える。一歩前へ踏み出せるよう、スポーツパークとどう関わらせ、近隣自治体とどう連携していくか模索していく。

公共施設

役場駐車場混雑解消

周辺土地取得を検討



駐車場に改修を望む

大沼 来庁者の利便性や配慮の観点から、駐車場問題を早期に解消すべき。

大沼 公共施設身障者用駐車場の青色塗装を徹底していく考え

町長 建設から37年が経過。経年劣化が見られる。不具合や地震等で被災した場合にその都度対応。今後、

大沼 令和4年度は給食費高騰分を交付金活用で対応したが5年度は。

大沼 町内に架かる橋梁を桜まつり、冬のイルミネーション期間中だけでもライトアップして話題づくり、ブランド力強化につなげては。

町長 実現が可能かどうか調査したいと考える。



大沼 忠弘



町長 青色塗装することでの不適正利用の抑制や適正利用の啓発の効果が出ていることは認識している。各施設の管理者に対し身障者駐車場の適正利用について改めて徹底するよう周知を行い、青色塗装を含め対応案件が出てきた際には、実施する方向で考える。

町長 令和5年度に工事を行うこととして予算計上。

大沼 放課後児童クラブの負担金軽減などの考えは。本事業は国・県との交付金を活用するとともに安全・安心な居場所づくり、食や遊び、学習を通じた健全育成のため、利用保護者から実費分の負担をいただいている。利用する児童と、しない児童の公平性の観点から軽減措置に関する検討はしていない。

一般質問

大河原卸売市場

「みんなの市場」新設を

共存できる活用を調査する



佐藤 巖



現状リフォーム等の再利用は考えていない。大河原物産発信の場「みんなの市場」の設置、市場敷地の活用についても地域流通の拠点として地方卸売市場の必要性や存在意義をしっかりと受け止めつつ、土地の利活用について引き続き調査していく。

いいの。リフォーム等を加え、みんなの市場設置で地域活性のつながりの場としての利用は考えられないか。

町長 現在、解体の予定はなく、定期的な点検を含め状態を確認しながら利用している現実がある。老朽化した建物に対する検討事項と考えているが、



「みんなの市場」新設で地域活性化を

識しており、市場の持つ機能性、今後の経営改善策の方向性を見定め、共存できる施設が新設可能か、研究したい」とのことだったが、改めて伺う。

佐藤 低迷する市場経営に令和3年3月新たな視点で抜本的な改革を目指す経営戦略を策定した。経営戦略に記されている町と市場関係者が毎年協議するとあるが、昨年

協議内容は。

町長 協議会において、市場における売買取引に関し必要な事項、その他市場の管理運営に関し必要な事項を調査、審議するもの。協議委員は、町の職員、卸売業者、買受人、その他の利害関係者及び学識経験者を町で委託している。令和2年度は、令和3年に策定した経営改善計画の内容を協議し、以

降はコロナ禍のため開催が見送られている。

佐藤 昨年の3月会議において市場敷地南側別棟鉄骨2階建て建物の倒壊の恐れはなく定期的に安全点検をし、町の倉庫として活用していくと答弁があったが、県南部交通の要衝で仙南地域の拠点となりうる大きな可能性を秘めている現地の建物が町の倉庫として利用されている現状

が、議会も財源を捻出する手助けとして子育て世代の負担軽減のために無駄な選挙費用を削減して予算確保してはどうか。議会を解散して、町長選挙と同日選挙にすることで選挙費用、町議会議員選挙の予算で約2200万円ぐらいだった。今回の選挙より公費負担があり増額となったが、(決算では約1600万円) 選挙費用から公費負担分約560万円を引くと約1000万円なのでだいたいその前の選挙と同じになる。町長選挙は約1100万円ぐらいであり、町長選挙と同日に行われ

た議員の補欠選挙費用が約300万円なので、全額削減にはならないが、800万円ぐらい削減になるのではないかと。削減した分を給食費の補助に回せばどうか。

町長 子育て支援全体の予算確保の議論が大切である。予算確保に議会の解散は議員同士で議論願いたい。

丸山 子どもの医療費助成も各自治体が先行して出来る自治体から始めていった。宮城県内で仙台市と白石市が15歳までだがそのほかに市町村は18歳までになっている。県の補助も自治体が先行したことにより未就学児までの補助から15歳までに引き上げられた。給食費の補助も出来る市町村から支援を行っていきべきではないか、ぜひ先を行くのではなく、遅れないよう

議会解散で給食費負担軽減を 子育て全体で支援策を考える

給食



国より先に自治体から

物価上昇により児童生徒の保護者の経済的負担が多くなっている。給食費の公費負担は出ないか。

丸山 全額補助の場合の町も負担額は。小・中学校全児童・生徒を無償化するると1億6000

万円ほどかかる。

丸山 第2子以降の全額補助の場合、3000万円ほどになる。

教育長 第3子以降の全額補助の場合、600万円ほどになる。

丸山 恒常的財源が必要になるとのことだが、国でも異次元の少子化対策を打ち出している。給食費の無料化も各自治体から上がれば国、県からの補助も考えられる。今あらゆるものが値上がりしている。家計が大変なので、2・3年の給食費の補助をしてはどうか。議会内の話になる

丸山 第2子以降の全額補助の場合、3000万円ほどになる。

教育長 第3子以降の全額補助の場合、600万円ほどになる。

が、議会も財源を捻出する手助けとして子育て世代の負担軽減のために無駄な選挙費用を削減して予算確保してはどうか。議会を解散して、町長選挙と同日選挙にすることで選挙費用、町議会議員選挙の予算で約2200万円ぐらいだった。今回の選挙より公費負担があり増額となったが、(決算では約1600万円) 選挙費用から公費負担分約560万円を引くと約1000万円なのでだいたいその前の選挙と同じになる。町長選挙は約1100万円ぐらいであり、町長選挙と同日に行われ

た議員の補欠選挙費用が約300万円なので、全額削減にはならないが、800万円ぐらい削減になるのではないかと。削減した分を給食費の補助に回せばどうか。

町長 子育て支援全体の予算確保の議論が大切である。予算確保に議会の解散は議員同士で議論願いたい。

丸山 子どもの医療費助成も各自治体が先行して出来る自治体から始めていった。宮城県内で仙台市と白石市が15歳までだがそのほかに市町村は18歳までになっている。県の補助も自治体が先行したことにより未就学児までの補助から15歳までに引き上げられた。給食費の補助も出来る市町村から支援を行っていきべきではないか、ぜひ先を行くのではなく、遅れないよう

な子育て支援は出来ないか。

町長 給食費無償化や補助を絶対にやらないと言っているわけではない。子育て支援の中で議論し検討していきたい。

丸山 地産地消について、大河原産の食材は。また、ほ場整備が進んでいる、まだまだ時間はかかるが米以外も安定して提供できるようなところがある。地産地消の体制を構築してはどうか。

教育長 大河原産の食材の品目は10品目になっている。また、米飯は100%大河原産になっている。また、大河原産の食材を給食でいただくのは地元を感じ、故郷を愛する意味でも重要な意味があると思われる。



丸山 勝利



一般質問

白石川右岸 河川敷整備

整備の基本プランの修正は

官民連携を視野に検討



大沼 常次



ばいけない。いつ実施するのか。2回目の調査結果が出て、事業の全体計画がまとまった段階でやるものだと考えている。

大沼 パークゴルフ場の管理運営はどうするのか。

生涯学習 一般競争入札での業務委託で考えている。

大沼 パークゴルフ場の維持管理には年間2千万円を要し、収益は年間300万円に満たない。1500万円以上の赤字を町の税金で補填しなければならぬことを町民にどのように説明するのか。

町長 新たなパークゴルフ場というスポーツ施設によって、運動習慣の定着や生きがいづくりの提供等多くのメリットがあることを丁寧に説明していきたい。

町は現在、白石川右岸河川敷整備事業を進めているが、昨年、新たに事業成立の可否の判断や市場性の有無、事業者が参加しやすくなるためのアイデアを求めするために「サウンディング調査」というものを247万円の経費をかけてコンサルディング会社に調査を委託し、その結果がこの度議会で報告された。

大沼 コンサルティング会社からの報告書では現行の基本計画では、集客、収益の観点から事業としての維持することは困難であるとの厳しい評価・指摘がされた。

町長はどう受け止めているか。

町長 多くの指摘をされたと受け止めている。

大沼 今後の方向性をどのように考えているのか。

町長 事業の継続性という観点からみて、官民連携という方向で検討したい。そのため新たに1100万円の予算をつけて再度の調査を行う。

大沼 さらに1100万円もかけて何の調査を行うのか。

地域整備課長 サウンディング調査の結果を受けて、実際に民間の事業者が参入するためにどのような事業方法をとつたらいいのかを調査するもの。

大沼 このような大規模な事業を実施するにあたっては事前に「大規模事業評価委員会」を開催しな

ら4歳児までが775人、5歳児が187人、6歳児が211人、合計1173人。

山崎 本町でも人口を増やして町民サービスを高める好循環を目指す未来のまちづくりを財源調整で新たに歳入を確保し、子どもに優しいまちづくりを実践することで、「ひと・まち・桜が咲きほころぶ先進のまち」をおおらかにたくましく未来へ続くおおがわらしくなるのではないかと考えている。

教育長 無償化を担保するための財源を恒常的に確保することが困難な状況であるが、

2回目の調査結果が出ていない中で、造成に着手するかの。

地域整備課長 「賑わい交流拠点施設」の事業手法の調査が主であり、整備区域の新規の道路施設の土盛りの設計等の計画は進めていく。

大沼 模範事業を実施するにあたっては事前に「大規模事業評価委員会」を開催しな

白石川
河川敷

ミーティングルーム
多目的トイレ
柱
テラス席
トイレ
カフェ
事務所
レンタサイクル収納
ホール・展示スペース
(桜の魅力発信)
シャワー室
トイレ(24h)
防災用備蓄庫

サウンディング調査で厳しい評価を受けた現行の基本計画

学校給食費の無償化を

財源の恒常的確保が困難

時候長引くコロナ禍に加え、あらゆる物価の価格高騰の影響を受け、生活環境は厳しさを増している。子育て世帯の保護者負担を軽減する支援として、給食費無償化を打ち出す自治体が増えている。



材料高騰など社会状況が変化してきている

本町でも町長の政策判断をすべしと思うが、町長の見解を伺う。

山崎 少子化が進む中で、現在の本町の未就学児の人数は、令和5年2月22日現在の未就学児の人数は、0歳児が

無償化を担保するための財源を恒常的に確保することが困難な状況であるが、

給食費の扱いについては、今後も、社会状況の変化を踏まえつつ、保護者の負担をできるだけ軽減するよう検討していく。

白線で滑る横断歩道の改善、改修を

雪が降り、凍りついた横断歩道の白線部分(白ペイント)で滑る事象が発生している。高齢者や体の不自由な方、赤ちゃんを連れたお母さん、通勤・通学の人達には凍った横断歩道は、事故やけがと結びつきかねず、交差点では車のスリップもあるため安心して通れる所ではない。凍結に強い、人に優しい横断歩道への取り組みが必要だと考える。

山崎 通学区域でのグ

ブルー色のペイントは滑りにくい塗料ではないかと思うので、業者の最新の技術を駆使して全国に先駆けて「凍らない横断歩道」の取り組みはできないか。

町長 道路標示の塗料については、一般道路の路面表示や横断歩道には耐久性が高く、反射材を含むことで夜間でも視認性が良いなどの特性がある溶融式が使用されている。重要通学路の歩道帯、自転車通行帯などのカラー区画線については樹脂系すべり止め舗装を採用している。横断歩道は交通管理者である警察署が設置することから、今後関係機関との合同点検、意見交換を行いながら交通管理者へ要望を行っていく。

社会状況の 変化



山崎 剛



一般質問

白石川右岸整備事業

負の遺産となるのでは



佐藤 貴久

官民連携可能性を調査



のシミュレーションは実施しているのか。コストに対する収益性、リスクに対する対策等により、事業の将来性が確実でなければ、長期的に維持管理することは非常に困難であると判断する。いかがか。

町長 第2次調査である、官民連携する、官民連携のシミュレーションは実施しているのか。コストに対する収益性、リスクに対する対策等により、事業の将来性が確実でなければ、長期的に維持管理することは非常に困難であると判断する。いかがか。

法導入可能性調査により、事業の生産性を高め、スポーツを活用したまちづくりの取り組みの中で、健康意識の向上を図り、この事業を観光戦略プランの取り組みと位置づけ、広域周遊策による、賑わいの創出を目指している。

佐藤 点から線へ。当該事業は、周辺自治体とのサイクルツーリングやインバウンド広域事業の起点だったと理解している。サイクルツーリズムに関して、広域連携は機能していないと判断する。現状はいかがか。

町長 広域連携は今後、推進するものと考えてる。

佐藤 ウェルビーイングのまちづくり

の典型的な事業のひとつに、歩いて健康シテム、歩きたくなるまち事業が位置づけされると考える。白石川右岸整備事業の推進にも関わらず、令和4年度実績は、新規登録者は約20名と参加者の伸びが鈍化している。対策は講じているのか。

健康推進課長 今後、事業の増加に努め、健康意識の向上を図る。

佐藤 当該事業は、大河原公園整備以来最大級の大規模事業。町民に等しく、恩恵や希望を与える事業となりえるのか。

町長 子どもから高齢者まで、幅広い世代に希望を与える事業と考えている。

佐藤 ランニングコースは積算しているのか。サウンディング調査の結果報告をベースとした財源措置の

対応は万全なのか。今後交流施設の整備により財政需要はさらに増大すると判断する。当該事業に投じた税金は、サンク・コスト、埋没費用と化してしまっているのか。自然災害はまた発生する。冠水のリスクが高いことは、調査の結果報告にも明記されている。冠水が生じて、少しでも被害が減ること、科学的根拠に基づく被害状況

サウンディング調査について

- ◆業務名 賑わい交流拠点施設整備サウンディング調査業務委託
- ◆履行期間 令和4年8月4日から12月20日まで
- ◆委託先 七十七リサーチ&コンサルティング株式会社
- ◆業務委託の目的

大河原町では、令和2年度に策定した「白石川右岸河川敷等整備事業基本計画」に基づき白石川右岸堤内(田んぼ側)に、賑わい交流拠点施設の整備検討を進めている。

同計画の目的は、隣接する「おおがわら千本桜スポーツパーク」等を活用し、年間を通じてスポーツやレクリエーションによる賑わい空間の創出と、町民の健康増進につながるような、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるような多目的な空間を整備することに加え、本町のシンボルでもある「一目千本桜」の伝承など、本町の桜を広くPRできるような機能を兼ね備えた施設の整備を目指すものである。

このように、本町が目指す新たな賑わい交流空間の創設に向け、賑わい交流拠点施設を整備するにあたり、本業務では、多面的な要素を取り入れた市場のサウンディング調査を行うものである。

大河原町地域整備課
報告結果は評価が厳しい

委員会活動

総務産業常任委員会は2月7日、文教厚生常任委員会は2月1日に、それぞれ次の内容について調査を実施したので報告する。

「デマンドタクシーの運営状況」について

総務産業常任委員会

平成29年度より5年間及び令和4年度のデマンド型乗合タクシーの運営状況について、利用者の増減、利用者比率等運行状況と乗降場所、運営経費等の説明を受ける。

主な状況

- コロナ禍の影響で、平成30年度をピークに利用者数が減少。
- キャンセルや変更が多いこともスムーズな運行の妨げとなっている。
- 今後の問題点と対応
- 運行経費の不足や、職員人事に係わる人件費増。物価高騰で来年度より借上げ料の増額を予定。

【まとめ】 要望の多い自治体の枠を越えての運行への対応は、正式になれば、地域公共交通協議会での全会一致での採択が必要となる。

「コロナ禍における観光戦略」について

コロナ禍の観光事業を取り巻く状況等

- コロナ禍における観光施設の変化、感染対策により観光需要が減少。
- 生活様式の変化がもたらす新しいニーズ、コロナの感染症対策の見直しにより従来の形に戻る期待高まる。変化への柔軟・迅速な対応を目指す。
- コロナ禍の観光振興について
- 県内の観光振興

文教厚生常任委員会

「土曜子ども塾の運営」について

対象：塾に通っていない町内小中学校の小学5・中3の児童生徒。

大河原中央公民館(まちづくりルーム等)・年間20回実施、参加者数23名。金ケ瀬公民館(2階会議室)・年間18回実施、参加者数7名。

【まとめ】 意欲がある生徒には必要な場所。経済格差が教育格差にならないようにしなければならぬ。コーディネーターと相談し、より良い事業になるように問題解決に努めてもらう。

「小・中学校の教材等の配備」について

- 各校とも、備品購入費・図書購入費を前年同額または増額予定。
- 図書購入費については慈善基金にて賄っている。

【まとめ】

- 照明設備の工事を行う際のLED化は、計画的に順次進めていくべき。
- 図書室については、家のようにリラックスした雰囲気読書できれば良い。また、気軽に出入りできる場所への配置換えを学校の意見を取入れ検討すべき。

3月会議

諮問 2件

● 人権擁護委員候補者の推薦について
1名は適任としたが1名は不適任とした。

報告(専決処分) 4件

● パークゴルフ場の変更契約について(第2回)
球の飛散防止のため、パークゴルフ場の周囲を
ネットで覆う工事代金383万7900円増額。

議案 27件

● 条例の制定・改正等に関するもの 13件
世代交流いきいきプラザにおいて「一時預かり
保育」の事業を行う条例の改正。
● 令和4年度一般会計・補正予算 5件
補正総額 5343万7000円

● 令和5年度一般会計・特別会計予算 8件
※詳細は2・3ページ
● 令和5年度一般会計補正予算 1件
補正総額 1億7683万6000円

工業団地への企業誘致を促進するために、金ヶ
瀬川根(アイリスオーヤマ大河原工場裏手)にあ
る柴田農林高等学校の果樹栽培農場を取得し、そ
の代替地として中の倉地内の農地を譲渡する計画。
造成工事着工は令和7年以降の予定。
※主要議案を抜粋

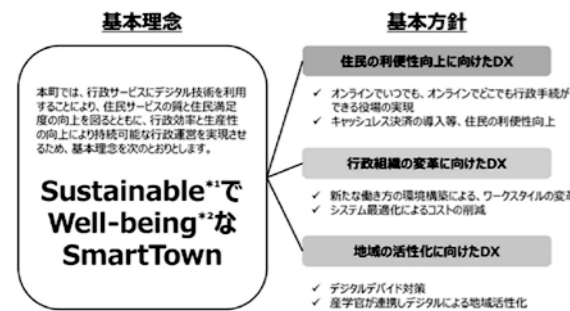
全員協議会

全員協議会は、議案の審査または議会の
運営に関し協議または調整を行うため
の場。会議は原則として公開している。
1月1回、3月は3回開催された。

3月会議

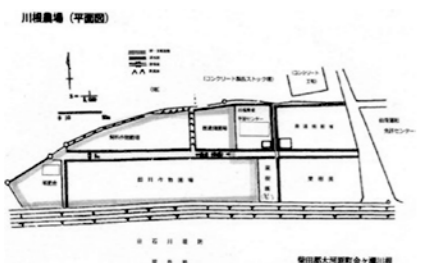
◆ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交
付金の活用状況
企業支援、町民支援、給食費、学校・保育施設、
公共施設、介護・子育て支援 等
令和4年度 2億4656万9千円

◆ 大河原町DX全体方針(標準計画)
「第6次大河原町長期総合計画」における社会
のデジタル化を推進するために令和5年から令和
7年までの方針が示された。



*Sustain(持続する)・able(〜できる)からなる言葉。「持続可能な(はず)な状態に保たれている」という意味。
**心身と社会的な健康を意味する概念。幸福や充実など多面的に幸せな状態を表す。

- 例) おくやみ窓口等の行政手続きワンストップ化
- 例) 各種申請等の手数料をキャッシュレス決済
- 例) 手続きや書類の確認、問い合わせがオンライン
- 例) 公式LINE、各種SNSでの迅速な情報発信



◆ 川根工業用地造成事業について
「企業進出のための環境整備」を進めるため、柴田農林高等学校用地の土地取得・造成を行う。代替えとして、中の倉地内の約2万2千平方メートルを用意する。

議会委員会提案 3件

議員の期末手当の支給率を報酬月額額の1・625倍から1・65倍に引き上げる。(可決)

補正予算とは
年度途中における災害の発生や法改正などに対応するため、当初予算を増額または減額する予算です。年4回開催される町議会の定例会や、緊急の場合には臨時議会に提出され、議決を経て定められます。

専決処分とは
本来は議会が議決しなければならない事を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に町長が議会の議決の代わりに意思決定することです。

諮問とは
意見を求めることをいいます。町長は、法令上定められた事項について、議会に諮問しなければならないこととされています。今回は人権擁護委員の推薦でした。

1月会議

報告(専決処分) 1件

職員がの公用車での物損事故の報告。
19万3589円の損害賠償を支払い和解した。

議案 4件

● パークゴルフ場の変更契約について(第1回)
整備中のパークゴルフ場は1億2595万円で
工事業者と契約していたが、芝生等の養育育成
のための水源工事が必要になったため970万6
400円の増額変更契約の締結の議案。(可決)

議決責任の明確化

議決結果	議員別表決結果一覧														
	岡崎 隆	大沼 忠弘	佐藤 巖	秋山 昇	万波 孝子	山崎 剛	佐藤 貴久	丸山 勝利	高橋 芳男	須藤 慎	佐久間 克明	高橋 豊	大沼 常次	中村 淳	佐藤 暁史
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(諮問第1号)	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(諮問第2号)	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
大河原町個人情報保護法施行条例の制定について	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
令和5年度大河原町一般会計予算	議	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
議会の議員報酬及び費用弁償等の支給に関する条例の一部改正について	議	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠

【表決の区分】 ○：賛成 ×：反対 除：除斥 議：議長なので表決に加わらず 欠：表決時に欠席(欠席・遅刻・早退・退席) 投：無記名投票(人事案件など)

※賛否が分かれたもののみ掲載。

◆ 第6次大河原町長期総合計画後期基本計画策定に係る住民満足度調査の結果
後期基本計画(令和6年から令和11年)を策定するにあたり町政に対するご意見をアンケートに行なった。
● 令和4年11月11日から12月8日まで。
● 町内18歳以上の2000人を無作為抽出。
● 749名から回答。
● 質問37問(政策評価・まちづくり・自由意見)

◆ 大河原町公共施設等総合管理計画(令和4年度から令和37年度)
人口動向、財政の見直し等を行い令和5年3月に改訂した。

◆ 大河原町世代交流いきいきプラザ条例の一部改正について
子育て支援の機能拡充を図るため、子育て支援センターによる「一時預かり事業」を開始。これまでの会議室1・2を「放課後児童クラブ」に。会議室3を「一時預かり保育室」として使用する。

1月会議

◆ 職員の前年引上げに関する条例整備
◆ 大河原町健康づくり推進審議会条例制定
◆ 白石川右岸河川敷整備事業にかかる進捗大河原町公園等設置条例制定
◆ 大河原町都市公園条例一部改正
◆ 第3期大河原町教育振興基本計画
◆ 大河原町体育施設条例一部改正

◆ 大河原町個人情報保護法施行条例について
国で統一した個人情報保護に関する法整備が行われたことから、大河原町においても「大河原町個人情報保護法施行条例」を制定した。併せて平成16年に施行した「大河原町個人情報保護条例」は廃止する。
この条例は令和5年4月1日より施行されている。

令和4年新型コロナウイルス感染 対応地方創生臨時交付金の活用 2億4656万円

大河原町 DXの推進 行政手続きのデジタル化・オンライン化

議員研修



令和4年12月14日、中央公民館において佐藤淳氏を迎え議員研修を受講。その後、初となる「ワールドカフェ方式」によるグループトークを行った。

として活動している。

研修の流れ

①チエックイン
研修に参加する今の気持ちを確認し合う。
②議会改革と議会基本条例について
「議会改革と言えは貴方は何だと思おうか」の問いかけから始まり、各議員間で共有されているのかを確認。また議会基本条例に記載していることができていくか確認。
③議会からの「政策サイクル」
監視、評価作業と政策立案、政策提言の両立。「個」ではなく「議会力」の重要性を確認。
④「ワールドカフェ」
模造紙に対話を通して、互いの意味付け、新しい関係性を創り出し記載した。

研修を受けて

今後の「議会力」向上に向け、次のまともを行った。
●各常任委員会ごとに、2年間の中期テーマを設ける
●議員間討議・自由討論の活性化
●議会報告会等でのワールドカフェ方式の採用
●予算決算委員会における分科会の検討
●政策立案の向上



議会ICT タブレット導入

ICT推進の経過

令和3年7月13日議会全員協議会にてプロジェクトチーム立ち上げ決定。希望者を募り8名で始動。

ICT化のメリットデメリット調査を行ったうえで、議員から意識調査を行う。その後プレゼン、業者からの講習会を開催。

会議は月1回開催し、タブレット端末の仕様、各会議での使用方法、災害時活用方法、会議規則の改正等について協議。議員同士でパソコン研修も継続した。

議員・職員に使用に向けた講習会を開催。令和4年12月よりタブレット

令和4年3月第1回定例会において委発により「議会ICT推進プロジェクトチーム」が発足してから議場でのタブレット運用開始に至るまでの経過を報告する。

タブレット貸与が始まり、各種会議にて使用開始。

運用に向けた規則等

●大河原町議会会議規則の一部改正
議場へ音声機器等タブレットを持ち込むことができる。

●大河原町議会委員会条例の一部改正
重大な感染症や災害等の発生により委員が参集できない場合、映像と音声の送受信で互いに状態認識できる状態で委員会を開催できる。



チームによる研修会

●議員同士でパソコン勉強会を月1回開催。



●貸与タブレットを使用した研修会の開催。



インタビュー

町民の声

子育てや町に望むことをお聞きしました。

子どもたちが
健やかに成長できる
魅力的なまちづくりを

プロフィール

ひろせ みさと
廣瀬 美聡さん (金ヶ瀬5区)
青森県出身
【家族】夫、子ども2人

どんな天候でも、 体を動かせる環境 づくりを

大河原町内には、外遊びができる場が多くあると感じています。休日には、近くの公園で地域の子どもたちとサッカーを楽しんだり、とんとんの丘で動物たちと触れ合ったり、冬になると白鳥に餌をあげたり、SIPARKで

出身は青森県です。進学のために仙台市に引っ越し、宮城県で就職しました。結婚を機に、勤務地へのアクセスがよい大河原町に引っ越ししてきました。両実家共に遠方ではありませんが、生活がしやすいこと、町内に魅力的な保育園があること、子どもたちが自然豊かな環境で育てられることなどから、ここ大河原町に住み続けたいと思います。今に至ります。

マウンテンバイクに乗ったりと近場で様々な経験ができています。しかし、雨天時は、どう過ごそうかと困ってしまいます。そんな時、我が家は福島県や山形県にある無料の室内遊戯施設へ行くことが多いです。町内にも天候に左右されずに子どもたちが思い切り体を動かせる環境があると良いと思います。

子どもたちは遊びの中から自然への気付き、社会性、思考力などたくさん学ぶことを学んでいくと考えます。外遊びが楽しめる、室内でも体をたくさん動かすことができるという環境がより身近に整うと、子どもたちの体と心に良い影響がもたらされ、就学後の学びにもつながっていくと思います。

また、このような施設があれば近隣の市や町からはもちろんのこと、県外からも訪れる人が増えると思います。午前中にたくさん体を動かして、お昼は町内でご飯を食べたり、買い物をしたりとすること

で、町が潤う効果もあるのではないのでしょうか。

食の安全 より身近に

我が子の離乳食をきっかけに、食の安全性への意識が高まりました。町内のスーパーに行くとき、地産地消コーナーで旬の野菜を選ぶように心掛けています。仙南地域、町内にも有機栽培、減農薬、作り手の見える農作物、無添加食品など、食の安全を大事にしている農家さん、お店があり大変有難いです。食の面から子どもの成長を支えたいという思いから利用させていただいています。

町議会では、大河原産農作物のブランド化を目指していきたいと提言された議員さんがいらっしやいました。そのような農家さんやお店を町がバックアップし、ブランド化していくというのはどうでしょうか。
「桜ガニック」と名付け、さくらつきーや一目千本桜と関連付け



でも面白いかもしれない。 (夫考案) 全国的に食の安全に対する意識が高まっている今、全国からの取り寄せに対応できれば、大河原の名を全国にPRすることもできます。ふるさと納税の返礼品としての活用もできると思っています。

また、上記でお話しした室内遊戯施設の近くで販売できると、施設を利用した方たちが気軽に大河原産農作物を手取るきっかけにもなると思います。

子育て支援は、巡り巡って大河原町の発展に寄与していくと考えます。子どもたちが健やかに成長できる町であり続けてほしいです。

こんな町に住みたらない



大河原小学校6年 佐川 倅叶さん

ぼくの理想の大河原町は、ごみがまったく落ちてなくてきれいな大河原町です。理由は、土手ぞいや公園などにゴミが落ちていることがあるからです。

そのためには、みんながポイ捨てをしないことを意識して、地域でごみ拾い活動をしたり、呼びかけポスターを作ったりすると、ゴミが一つも落ちていないとてもきれいな大河原町になると考えました。

毎年春に大小ではゴミ拾いをするので、夏や秋にもゴミ拾いをしていきたいです。



大河原小学校6年 片山 美鶴さん

今私たちが生活している大河原町は桜が有名で、のどかな町になっています。

でも、屋内・屋外の遊び場がありません。町外の遊園地などのテーマパークに行くには時間がかかるし、雨の日は外の公園で遊べないのでひまになってしまいます。なにより、子ども連れのお母さんが、子どもを預けてゆつくり買い物することもできません。

なので、これからは大河原町に屋内・屋外の遊び場などを建ててほしいです。

街がピロピロメント



白石川堤に高山開治郎翁が桜を植樹してから100年がたちました。私も大河原町に生まれ育ち、小さい頃から白石川堤に桜があるのあたりまえに育ちました。ふるさと納税の先駆けのような故郷に何かをしたいと思う志には感謝を受けます。これからの大河原町もふるさと納税をしていただけのように、魅力あるまちづくりに議会も務めたいと思います。

6月議会のお知らせ

招集日 6月1日(木)・再開日 6月7日(水)

お問い合わせは議会事務局まで

53-2800

議会を傍聴しませんか



今回の表紙は



今回の表紙は大河原南小学校の入学式。担任の先生から名前を呼ばれ、元気に返事をする姿に逞しさを感じました。新一年生の皆様、これから小学校での生活が始まります。たくさん遊び、たくさん学び、そしてたくさん食べて、楽しい思い出をいっぱい作ってください。

(佐藤 暁史)

編集後記

マスク着用から解放されたとはいえ、油断禁物の昨今。世界中に夢と感動と勇気を与えてくれたWBC侍ジャパン。私もその一人。本町においては、桜植樹100周年を迎えた記念行事と4年ぶりに開催された桜まつり。多くの観光客に町の魅力をPRできたことでしょうか。

6人のメンバーで議会広報を担当してきましたが、今号をもって任期2年を迎えます。次号からは新メンバーが担当します。より一層内容を充実したものにしていきたいと思えます。ご意見ご感想をお寄せください。

(万波 孝子)

- 編集発行責任者** 議長 岡崎 隆
- 議会広報常任委員** 委員長 万波 孝子
副委員長 佐久間 克明
委員 丸山 勝利
大沼 常次
中村 淳
佐藤 暁史